

CONCAT関数

使い方マスターガイド



※当ガイドに従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご活用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。

【比較表】文字をつなぐ4つの方法

【比較表】文字をつなぐ4つの方法

Excelには文字をつなぐ方法が4つもあります。実務では、基本は「&」、区切り文字があるなら「TEXTJOIN」を使うのが正解です。

方法	特徴	おすすめ度	使い所
アンパサンド (&)	関数不要なため、最も手軽で速い。	◎	2〜3個のセルをつなぐ時
CONCAT	範囲指定ができる (A1:A10)。 ※CONCATENATEの後継	○	大量のセルを単純につなぐ時
TEXTJOIN	区切り記号を一括挿入できる。 空白スキップも自動的に行える。	◎	テキスト結合後に、カンマ区切り、改行区切り等を挿入する時
CONCATENATE	古い関数で、範囲指定ができない。 タイピングが長い。	×	古いバージョンとの互換性を維持したい時

【基本】「&」と「CONCAT」の使い方

【基本】「&」と「CONCAT」の使い方

日常業務の9割は、この2つのどちらかで解決します。

1. アンパサンド (&) を使う

数式の中で文字をつなぐ最も直感的な方法です。文字列は必ずダブルクォーテーション (") で囲みます。

- 数式： `=A1 & "様"`
結果： 田中様
- 数式： `=A1 & " " & B1` (間にスペースを入れる)
結果： 田中 太郎

2. CONCAT関数を使う

範囲をドラッグして指定できるのが強みです。

- 数式： `=CONCAT(A1:C1)`
結果： 東京都港区芝浦 (A1, B1, C1の中身がすべて結合される)

【最強】 区切り文字なら「TEXTJOIN関数」

【最強】区切り文字なら「TEXTJOIN関数」

「田中, 鈴木, 佐藤」のように、間にカンマやスペースを入れたい場合、& や CONCAT では &,"& を何度も書く必要があり大変です。TEXTJOIN関数なら、設定は1回で済みます。

=TEXTJOIN(区切り文字, 空のセルを無視, テキスト1, ...)

引数	設定例
① 区切り文字	カンマ (,) や改行を実行するCHAR (10)
② 空のセル	TRUE (無視する) または FALSE (無視しない)
③ テキスト	結合したい範囲 (例: A1:A10)

💡 例：A1～A3をカンマ区切りにする =TEXTJOIN(",", TRUE, A1:A3) → 結果： 田中,鈴木,佐藤

【注意】日付をつなぐ時の「シリアル値」問題

【注意】日付をつなぐ時の「シリアル値」問題

日付が入ったセルをそのまま結合すると、意図しない数字（シリアル値）になってしまいます。TEXT関数で数値をテキストに変換し、表示形式を指定してあげる必要があります。

失敗例： ="期限は" & A1 （A1には"10/1"が入っている）

→ 結果： 期限は45200 （日付が数値化されてしまう！）

成功例： ="期限は" & TEXT(A1, "m/d") （TEXT関数で文字列に成形する）

→ 結果： 期限は10/1

よく使う表示形式：

- "yyyy年m月d日" → 2025年10月1日
- "m/d(aaa)" → 10/1(火)
- "h:mm" → 9:00

【免責】

※当資料に従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。

※あくまで参考としてご活用いただくことを想定している資料です。また当資料は、公開日時点の内容となっております。最新の情報、実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。